

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	17
施設名	葛飾区小菅保育園
施設所在地	東京都葛飾区小菅2-19-1
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

食「こども会議(献立を考える)」

<テーマの設定理由>

ここ数年、月に1回、5歳児の子ども達が考えた献立（通称：ひまわりメニュー）を取り入れている。3歳児クラスの頃は、好き嫌が多く、全体的に食の細かいクラスであったが、ひまわりメニューの日や食にかかわる活動に携わった時は、喜んで食べる姿がみられた。食材のことを調べたり、献立を考える活動を通して、子ども達の食への興味関心をさらに深めるため。自分の思いを友達に伝える力や友達の考えを聞く力、意見をまとめる力などを身に着けながら、実現実行にむけてのワクワク感や達成感を味わい、自己肯定感を高めるため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年5月：初めてのひまわりメニューを考えるこども会議開始  
令和7年5月～令和8年3月：実施  
(内訳：月1回、計11回)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・5つのグループに分け、少人数で話し合う環境を作る。
- ・ひらがな献立表を毎月幼児クラスに貼る。
- ・こども会議で考えたメニューをホワイトボードに書く。
- ・食材、料理の絵本を用意する。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・グループで話し合ったものをクラス全体で共有。
- ・決定したものを調理師、園長に報告、相談する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「主食はお米やパン、麺類だよ。なにがいいかな？」 「(果物を考えるにあたり)5月の季節ってなんだろうね？」

「おいしい時期はいつなんだろうね？」 「ここにいる〇〇ちゃん…みんなの意見を出して考えよう。」

「みんなが“いいね”ってにこにこになったらオッケーだよ。」



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

毎月ひまわりメニューについて、食べてみたい料理、作ってみたい料理、ごっことして楽しみたい料理などを、こども会議でそれぞれが思いを出し合い、計画、準備、実践を楽しむことができた。毎月の話し合いを通して、自分で考えた意見を主張するだけでなく、相手の意見を聞くことや、どうしたら相手も納得できるのか、他のクラスの友達はどう思うかなど、他の人の気持ちにも目を向けられるようになった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	17
施設名	葛飾区小菅保育園
施設所在地	東京都葛飾区小菅2-19-1
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜づくり

<テーマの設定理由>

- ・小さな畑を利用し夏野菜を育てる。土づくりから、種まき、雑草取りや毎日の水やりなどの活動から収穫、調理を行う。
- ・苗や種から成長する過程を観察し、その不思議さに気づき、探求心を養いながら、育てる実感を持つとともに、友達と協力して世話をすることで責任感を持って行動する力を育む。
- ・土の感触・野菜のにおいや手触り、生長の変化を肌で感じ、五感を豊かにするため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月：畑づくり開始  
令和7年5月～10月：実施  
(内訳：月3回、計18回)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・中庭に畑を用意。野菜に苗を植える。
- ・野菜の絵本を準備する。
- ・スコップ、ジョーロ、はさみ、定規、測り、軍手、紙(収穫する順番、調理方法を記した表)、ペン

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

中庭で遊ぶ際はこまめに畑に立ち寄り、畑の様子を観察する時間を設ける。  
土づくり、雑草取り、水やりを行い、畑の様子を写真で撮影し掲示する。  
自分たちで収穫した野菜を子ども達が下洗いをし、調理室で洗った野菜を目の前で調理する。  
収穫した野菜の長さや重さをはかる。また、きゅうりやナスの食べ比べを行う。（味付け、調理法を何種類も行う）

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「(子どもが葉っぱの穴を見つけ、報告に来る)どうして穴があいてるんだろうね?」  
「幼虫は野菜の根っこを食べるんだって。」  
関心をもって虫や葉っぱに注目できるように、「土をふかふかにしてくれる虫と野菜の根っこを食べる虫がいるんだって。」  
「本当だ!野菜大きくなったね」「美味しそうだね。」「どうやって食べたらおいしいかな?」



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

朝の会などで気づいた事を発表することで、野菜の成長に興味広がった。土づくり、野菜の世話、収穫の様子などは、日頃のお便りや掲示で保護者にも共有することで、家庭でも話題になったり、実際に家庭でも野菜作りを始めた家庭もあった。収穫物を家庭に持ち帰り、家庭でどのように食したか報告しあう。食材だけでなく、調理方法や味付けにも関心が広がった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	17
施設名	葛飾区小菅保育園
施設所在地	東京都葛飾区小菅2-19-1
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

提供の仕方の工夫

<テーマの設定理由>

・野菜の収穫を喜び、達成感を感じながら、<収穫した野菜をどのように、食べるのか><全園児が食するためには、どのようにしたらよいか>など話し合う。  
・自分たちで考えた献立（ひまわりメニュー）や献立表を見て出来そうな献立の提供の仕方やアイデアを話し合い、友達と協力しながら準備を進めていく。主体的に取り組むことで、目標に向かってやり遂げる力をはぐくむため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年6月17日：お弁当屋さんごっこ実施

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・お弁当箱、ホットプレート、トースター、鍋、包丁、まな板、おたま、調味料、紙、ペン、テープ、ホッチキスを用意する。  
・テーブルやワゴンをホールや他クラスに運んだり、子どもたちの作った看板を飾ったりする。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

朝の会などでお弁当屋さんをやりたいという友達のアイデアを受け、みんなで相談した。どこのクラスのお弁当屋さんをやりたいか話し合い、各クラスのお弁当屋さんごとに分かれて、どんな風にお弁当を提供するか、場所はどこがいいか、どんなものがいいのかそれぞれ考え必要なものを準備し始めた。お弁当屋さんごっこ当日は子どもたちのアイデアを実現し、3歳児クラスには看板を作って飾り、食事の席まで配りに行った。4歳児クラスにはチケットを作って配り、ホールまで買いに来てもらう。5歳児クラスにはチケットを作って配り、座席をブルーシート席とテーブル席に分けて好きな席で食べられるようする。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「(メニューを見てお弁当屋さんがやりたいとの意見に対して)それはいい考えだね。〇〇さん(調理師の名前)に相談してみる？」

「どのクラスにお弁当届けたい？」 「他のお友達の意見も聞いてみよう。」 「ナスが大きくなったらどうしようか？(収穫した野菜をどうするか。)」 「どんな風にしたらおいしいかな？」



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

朝の会などでお弁当屋さんをやりたいという子どものアイデアを発表する場を設け、みんなで相談した。友達のアイデアだと子どもたちの気持ちの動き方も違い、子どもたちから、看板やチケットなどの準備物を作ろうとする姿があった。

事前に園長、調理師に子どものアイデアを伝え、内容を共有する、昼礼でも職員に報告することで、子どもたちのアイデアからなる活動を、他クラスも巻き込んで楽しむことができ、子どもたちの自信となった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	17
施設名	葛飾区小菅保育園
施設所在地	東京都葛飾区小菅2-19-1
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

調理保育

<テーマの設定理由>

自分自身が調理に携わること、匂いや音、温度などで食べてみたいという意欲を引き出すため。準備から片付けまでの作業を通して、食べ物や作ってくれた人に感謝の気持ちを持ってほしい。

## 2. 活動スケジュール

令和7年7月25日：春巻作り実施  
令和7年9月3日：カレーライス作り実施

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

トースター、しゃもじ、お玉、鍋、ガスコンロ、ガスボンベ、IH、フライパン、ホットプレート、ボウル、箸、トング、調味料、皿、プロジェクター、iPad、まな板、子ども用包丁、ピーラーを用意する。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

五感を使って、食材の面白さや変化を楽しむ。「苦手な食材も調理法を変えると食べることができる」ということに気づき、【食べるのが楽しくなる】体験をする。カレーライス作りでは、野菜の皮剥きや子ども用包丁で食べやすい大きさに切る。調味料の匂いを実際に嗅いでみたり、鍋の中の様子をiPadで撮影しながらプロジェクターで映して調理の過程を見る。春巻を自分たちで巻く。献立表を見てチーズトーストをホットプレートやトースターで温めたり、ジャムやバターを自分たちで塗る、おにぎりを自分たちで握ったりする。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「前のひまわりさんは自分でカレー作ったんだって。みんなはどうする？」

「(ひらがな献立表を見て)何ならみんなできそうかな？」

「確かに自分で作るの楽しそう！」 「じゃあ自分たちで作ってみる？」



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

春巻作り、カレーライス作りでは、自分で実際に春巻を包んだり食材を切ったり、調理中のおいや音を聞いて五感が刺激されたり、自分が考えたメニューが実現したことで更に美味しさが増したようで、いつもより食が進み、おかわりの連続だった。また、他のクラスの友達や職員に「今日のメニューどうだった？」 「タンポポさんがおいしかったって！」 など自分たちで調理したことが自信となっているようだった。チーズトーストをホットプレートやトースターで温めたり、ジャムやバターを自分たちで塗る、ジャムを作るなど、献立表を見て、クラスでできそうな活動があったら担任に交渉するようになり、子どもたちが主体的に活動を楽しむようになった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	17
施設名	葛飾小菅保育園
施設所在地	東京都葛飾区小菅2-19-1
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

栄養を考える

<テーマの設定理由>

食に関する活動を通して、栄養について考える姿が見られてきたため。3色食品群について保育士が話をすると、旬の食材や栄養バランスを意識しひまわりメニューを考えているため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年5月：初めてのひまわりメニューの栄養を振り返る  
令和7年5月～令和8年3月：実施  
(内訳：月1回、計11回)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・紙、ペン、カラーペン、カラーテープ、大豆、タッパー、水、鍋、IHを用意する。
- ・ひまわりメニューで考えたメニューにどんな食材が入っていたか考えて意見を出し合い、表を作る。
- ・入っていた食材の表を元に、3色食品群に分けられるか考えて意見を出し合い、表を作る。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

主食、汁物、主菜、副菜、果物、おやつに分けて表にし、どんなメニューでどんな食材が使われていたか考える。その後、それを3色食品群に分けて表にし、2つの表を調理師と一緒に答え合わせをしていく。2つの表にコメントも交えて掲示し、保護者にも共有していく。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「主食はなんだった？」 「あとは何が入ってたかな？」 「すごい！そんなことも知ってるの？」

「パンって何でできてるのかな？」 「しょうゆは何色の食べ物だと思う？(3色食品群)」



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

旬の食材を調べたり、友達と教えあったりするようになり、食材がより身近になってきた。気になったことやわからないことを調理員に自ら聞きに行き、教えてもらうようになり、調理室との距離感が縮まった。「しょうゆは大豆からできている。」と発言した子がいたので、実際に硬い大豆、一晩水につけた大豆、大豆を煮たものの違いにも触れ、それぞれ感じたことを伝え合った。食材だけでなく、何でできているか、何が使われているかなど素材にも目を向けられるようになった。また、3色食品群の表に当てはめてみんなで考えることで、栄養バランスも少しずつ意識しようとしていた。